EKKグループの価値創造プロセス

EKKグループはグループ経営方針に基づき、技術に裏打ちされた独自性のあるかつ社会に有用な商品を世界中で生産・販売することで、ステークホルダーへの価値を提供してまいります。

Input

経営資本

人的資本

- 連結従業員数 ―― 6,268名
- うち研究開発関係者 ―― 188名

財務資本

- 株主資本 ―― 947億円
- 中期経営計画期間（2023～2025年度）投資総額 ―― 約350億円

自然資本

- 電力使用量 ―― 139GWh
- 水資源使用量 ―― 420千㎥

知的資本

- 保有特許件数 ―― 2,107件
- 研究開発費 ―― 3,582百万円

製造資本

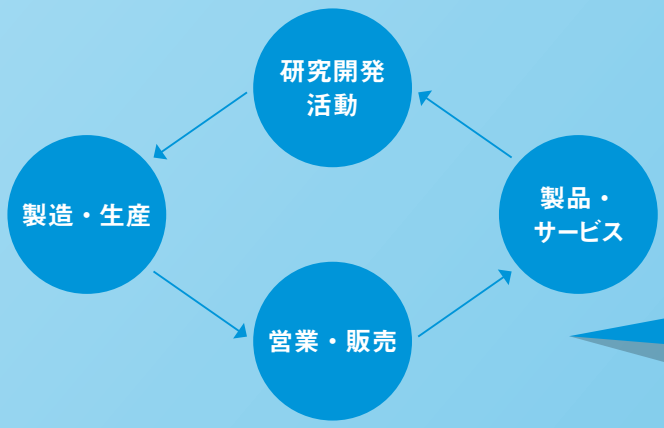
- グローバル連結子会社 ―― 43社
- 連結子会社展開国数 ―― 20カ国

社会関係資本

- 各製品の販売先 ―― 約3,000社
- 仕入先・パートナー企業数 ―― 約1,300社

Business Model

メカニカルシールの総合メーカーとして世界中の5つの各産業の分野で事業を展開



自動車・建設機械業界向け事業
一般産業機械業界向け事業
半導体業界向け事業
舶用業界向け事業
航空宇宙業界向け事業

中期経営計画（2023年度～2025年度）

主要推進項目

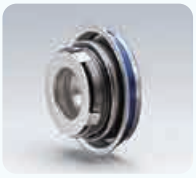
1. 変化への巧緻的対応
2. ESG経営
3. 永遠のゼロ
   「顧客から信頼される製品品質の確保」
   「世界同一品質の確保」の実現
4. TCD/ムダ半
   「Total Cost Down」
   「ムダの排除～すべてを半分に」による利益創出
5. DXの推進
6. 次世代独自技術製品
7. 人間尊重/人財育成

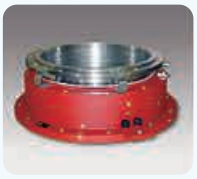
ステークホルダーへ提供する価値｜Outcome

お客様・株主・取引先・
金融機関・社会・従業員

事業活動の成果｜Output

EKKグループ各製品・サービス





中期経営計画の目標

2025年度 業績目標

売上高	営業利益
1,700億円	90億円

※本中期経営計画最終年度（2025年度）目標経営数値は、計画策定時において、売上高2,000億円、営業利益145億円と定めておりましたが、当初見通し時から半導体業界全体が低迷したことを主な要因として、売上高1,700億円、営業利益90億円に変更することといたしました。

非財務指標

FTSE Russell ESGスコア 3.2

ESGマネジメント

サステナビリティ活動への取り組み

社長を委員長としたサステナビリティ委員会を設置しEKKグループのサステナビリティ活動方針
ESG重要課題（マテリアリティ）の特定、活動結果を評価

ESG重要課題（マテリアリティ）への取り組み

法令、ESG Rating、ステークホルダーの要請等に基づきEKKグループのESG重要課題（マテリアリティ）を特定し
各マテリアリティの主管部門において、目標設定、実務等を推進